

ムカデに噛まれたら!!



あなたはどうしますか。

普通は、腫れて赤くなった場所を冷やし、傷口の毒を絞り出し、その後医療機関に駆け込みます。しかし医療機関でもムカデの特効薬はないので局所麻酔剤の注射などで痛みを止めて、抗アレルギー剤やステロイド外用剤、抗生剤や鎮痛剤の処方で見えなかったと思います。

多くの教科書にも痛くて腫れている場合は「冷やさない」と書いてあります。

ところが最近、これと全く逆の治療法がインターネットで紹介されており、経験した多くの医師も推奨しています。

ムカデ咬傷の温熱療法です。

「やけどしない程度の熱いお湯(43℃以上)で患部をよく温めてシャンプーで洗浄を」

出来るだけ早く 43-45℃のお湯で 10分-20分温める。たったこれだけです。ムカデの毒はタンパク毒なので熱に弱く、体のごく浅いところに毒が入るため、毒がまわる前に、つまり噛まれたらすぐ、熱めのお湯をかけ毒を失活させて流すのが効果的なのだそうです。これで痛みは改善し腫れも治りますが、ショック症状など変わったことがあれば**医師にご相談下さい。**

参考サイト 東京工業大学 ソリューション研究機構 (特任教授) 上田智章先生
<http://www.neo-tech-lab.co.uk/Interest.htm>

【アウトドアでの裏技】

山の中でキャンプ中にムカデに噛まれ、お湯が直ぐに用意できないときは溶けたろうそくを患部に垂らします。溶けたろうそくの温度は 50℃ですが皮膚に接触すると熱交換を起こすので火傷の心配は無いとのこと。

高温なため、熱いですが即効性があると考えられます。

また海辺でヒトデ・ウニ、魚の棘などに刺されたとき、また草むらで蚊やブトに刺されたときにも温熱療法は有効の報告もありますので、慌てて受診する前に試して見て下さい。

これで痛みが改善し腫れがとれたら儲けものでしょう。

院長